

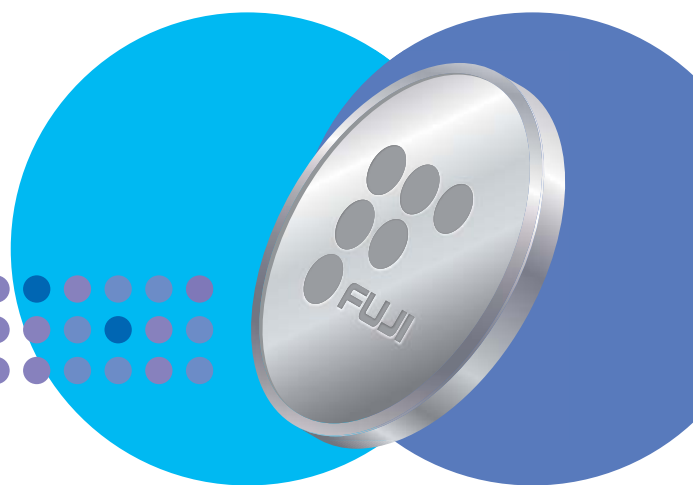
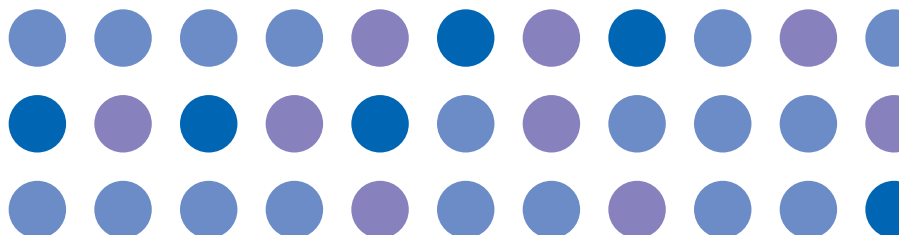
FUJI Business Report

FUJI ビジネスリポート

第50期

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

夢見る人に次々と。
ヒト味違う“オモシロ”さ！





代表取締役社長
松元 邦夫

稼働力のある機種を 創出し、さらなる 成長へとつなげます。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

藤商事は、コーポレートスローガン「ヒト味違う“オモシロ”さ!」のもと、独自性の高い遊技機を幅広いファン層に向けて開発してきました。さらなる成長とブランド力の向上を実現するためにも、開発力の強化に努め、ファンの皆様が長期間楽しんでいただける新たな価値を備えた新機種を創出していきます。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

市場動向と平成27年3月期の総括

Q1 当業界の現状と重点課題の達成状況を含め、総括をお願いします。

A1 パチスロ遊技機の販売好調を背景に
通期の業績計画を上方修正いたしました。

現在の当業界は、パチスロ遊技機の設置台数は増加している一方、パチンコ遊技機の設置台数は減少しています。また、参加人口ならびにホール軒数は減少傾向が続いており、ホール様の経営環境は依然として厳しい状況にあります。そのため、遊技機の購入については、慎重な姿勢が継続され、安定稼働が見込める実績を備えた機種に需要が集中する傾向にあります。

こうした状況のなか、当社は、「ブランド力の構築」を目標に掲げ、知恵と工夫をもって3つの重点課題に取り組みました。

まず1つめは「稼働本位」です。当期の発売機種

なかで『CRリング 運命の日』と、パチスロ遊技機『リング 呪いの7日間』の2機種が、ファンの皆様に支持され、長期的に稼働し、ホール様に貢献しました。このことにより「ホラージャンル=藤商事」としてのポジションを確かなものにすることができました。

続いて2つめの「新たな流行を創り出すヒット機種の実現」については、独自機能を搭載した新本体枠「エアークャノン」を投入したほか、パチスロ遊技機『リング 呪いの7日間』においては、パチンコ遊技機で好評だった「呪いの手役物」などを採用することで、今までのパチスロ分野にはなかったゲーム性を実現し、高い評価をいただきました。

最後に3つめの「販売計画の着実な達成」ですが、パチンコ遊技機は販売計画台数に届きませんでした。パチスロ遊技機は計画を上回る販売台数となり、結果、総販売台数はほぼ計画値の水準となりました。

平成27年3月期の業績につきましては、新本体

枠の投入による本体比率の上昇や、パチスロ遊技機の販売台数が前期と比較して増加したことなどを背景に、通期の業績計画を上方修正し、売上高・各利益とも増収・増益を達成いたしました。

平成28年3月期の取り組み

Q2 次期の重点課題を教えてください。

A2 稼働力を追求するとともに、
利益体質の強化を図ります。

平成28年3月期は、知恵と工夫をもって「稼働力の追求・利益体質の強化」に向けた取り組みを行ってまいります。

「稼働力の追求」については、ホラージャンルに次ぐ、新たなジャンルの確立に取り組んでまいります。加えて、独自性を追求することにより、稼働する遊技機を創造してまいります。

「利益体質の強化」については、販売計画を着実に達成し、ムリ・ムダ・ムラを排除する体制作りを推進することで、より多くの利益を創出できるように努めてまいります。

株主還元

Q3 配当施策についてお聞かせください。

A3 適正な利益還元を継続し、
信頼される企業を目指します。

当社は、企業価値の向上とともに、株主の皆様への適正な利益還元を行い、信頼される企業を目指しております。平成27年3月期の1株当たり配当金につきましては、25円の間配当を実施済みであり、期末配当金については、25円とさせていただきます。平成28年3月期の1株当たり配当金は、通期で50円を予定しており、業績予想に基づく配当性向は30.5%となります。

今後とも株主の皆様のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

業績ハイライト

販売台数	159,500台	(対前年同期比 17.4%増)
<small>(パチンコ遊技機・パチスロ遊技機合計)</small>		
売上高	56,151百万円	(対前年同期比 34.2%増)
営業利益	7,936百万円	(対前年同期比 87.7%増)
経常利益	7,949百万円	(対前年同期比 86.8%増)
当期純利益	4,812百万円	(対前年同期比 76.0%増)

平成28年3月期の重点課題

稼働力の追求・利益体質の強化 ～知恵と工夫～

① 稼働力の追求

- ホラーに次ぐ新たなジャンルの確立
- 独自性の追求

② 利益体質の強化

- 販売計画の着実な達成
- ムリ・ムダ・ムラを排除する体制作り

その他トピックス

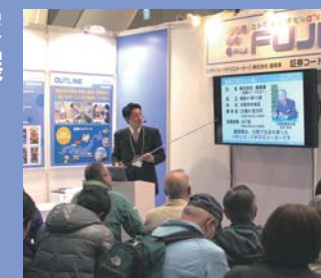
自己株式110万株を消却

(平成26年11月7日)

個人投資家様向け説明会の実施

- 野村IR個人投資家フェア2014出席
(平成26年12月16日・17日)

- 東証IRフェスタ2015出席
(平成27年3月13日・14日)



特

集

藤商事のパチスロ遊技機開発

オリジナル性の追求

パチンコ遊技機メーカーとして培ったノウハウ・実績をベースに
パチスロ遊技機の開発力を磨き、独自性のある機種を創造しています。

パチスロ遊技機開発のシナジー戦略



パチスロ遊技機
主な変遷

2003



©藤商事
ツインバーニング

2006



TM and ©1964, 1999 and 2006 ITC
Entertainment Group Limited.
THUNDERBIRDS is a Gerry Anderson
Production. Licensed by Granada Ventures.
パチスロ
サンダーバードネオXX

2008



©福本伸行/竹書房
パチスロ アカギ
永続の闘牌

2011



©雨宮慶太/魔法少女隊 Project
マジカルスロット
魔法少女隊アルス

2012



©福本伸行/竹書房
パチスロ天
天和通りの快男児

2013



©真島ヒロ/講談社
パチスロRAVE
エンドレスラッシュ

2014



©水木プロ
パチスロ ゲゲゲの鬼太郎
～ブラック鬼太郎の野望～



©1998「リング」「らせん」製作委員会
リング 呪いの7日間



©藤商事
パチスロ アレジン

ファンの心に響く パチスロ遊技機を

開発本部 副本部長
松下 智人

開発副本部長 に聞く!



わかりやすさと意外性

パチスロ遊技機開発のポイント

パチスロ遊技機開発はストップボタンを押した際のリール制御から、大当たりを獲得するまでの期待感を高めるゲームフローまで、パチンコ遊技機開発とは異なるノウハウが必要となります。そこがパチスロ遊技機の稼働力、面白みの部分でもあります。当社はパチスロ遊技機メーカーとしては後発ですが、これまでパチスロ遊技機ならではの開発ノウハウの蓄積に取り組んできました。

パチンコ・パチスロ遊技機の共通点

その一方で、パチンコ・パチスロ遊技機開発には、とても大切な共通要素があります。それは、「わかりやすさと意外性」です。当社の看板機種であるパチンコ遊技機「CRリング」の開発で培った「わかりやすさと意外性」を、パチスロ遊技機においても表現できたことで、業界トップクラスの長期稼働を実現し、ヒットタイトルとしての販売実績を残すことができました。

当社の開発の取り組みと、今後の意気込み

当社では、パチンコ遊技機開発で培った映像表現やギミックによるゲーム演出のノウハウを、パチスロ遊技機開発にも最大限に活用するとともに、パチンコ遊技機でのヒットタイトルをパチスロ遊技機にも採用し、他社にはないオリジナリティ溢れるパチスロ遊技機創出に取り組んでいます。また、パチンコ・パチスロを日頃から楽しんでいる開発スタッフが、ファンの皆様が求める期待感、そして遊技者としての視線を第一に考え、新たなトレンドやアイデアを生み出すことに努め、日々開発に取り組んでいます。今後も「リング 呪いの7日間」のヒットに続く、当社ならではの「ヒト味違う」パチスロ遊技機を創り続けてまいります。これからの藤商事のパチスロ遊技機にご期待ください。

当期の発売機種

Main Lineup

パチンコ遊技機
(シリーズ累計販売台数) 単位:台

機種名	販売台数
CRヴァン・ヘルシングII	9,300
CR嬢王	4,500
CRリング 運命の日	63,300
CR ZETMAN-The Animation-	6,800
CR地獄先生ぬ〜べ〜	3,300
CRアレクトロン	900
CR暴れん坊将軍 怪談	13,100
CRくのいち 彩	1,800
その他*	11,900
計	115,300

*前事業年度ならびに当事業年度に発売したシリーズ機種

パチスロ遊技機 単位:台

機種名	販売台数
リング 呪いの7日間	21,100
パチスロ アレジン	23,000
計	44,100

パチンコ



CRリング 運命の日

前作「CRリング 呪いの7日間」(平成23年7月発売)では、ゲーム性や「呪いの手役物」などが好評で長期稼働の実績を残しました。その待望のシリーズ作として、新枠「エアークヤノン」の採用によりサウンドの向上等の魅力も加わり、当期のパチンコ遊技機の販売台数を牽引しました。

平成26年6月発売
PACHINKO
販売台数 **63,300** 台

©1999 鈴木光司
発行:株式会社KADOKAWA 角川書店
©1998「リング」「らせん」製作委員会

パチスロ



©1998「リング」「らせん」製作委員会

リング 呪いの7日間

パチンコ遊技機で実績のあるホラーコンテンツ「リング」を採用し、パチンコ遊技機で培った液晶上でのゲームの表現力や、パチンコ遊技機メーカーならではの役物を使ったゲームの演出など、これまでに無いパチスロ遊技機がパチスロファンに支持されたため長期に渡り稼働し、販売計画を上回りました。

平成26年7月発売
PACHISLOT
販売台数 **21,100** 台

パチスロ アレジン

当社が1992年に発売し全国のホールで「アレンジボール」ブームを巻き起こした伝説の名機「アレジン」をモチーフにしたパチスロ遊技機です。スペックの魅力や効果的なタイミングで市場投入したことから当初計画していた販売台数を上回り、当期の業績に大きく貢献しました。

平成26年11月発売
PACHISLOT
販売台数 **23,000** 台



©藤商事

財務の詳細は当社ホームページの「投資家情報」をご覧ください。

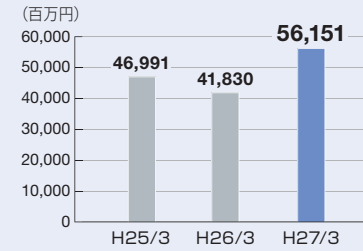
藤商事

検索

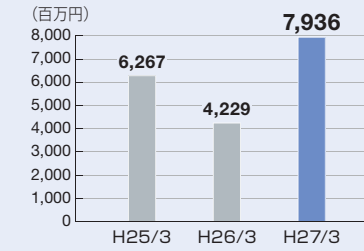
決算のポイント

パチスロ遊技機の販売が好調に推移し、増収・増益に貢献

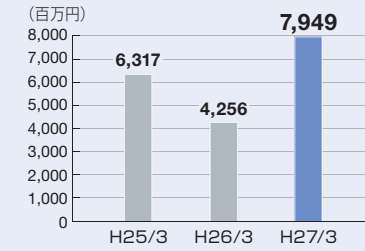
売上高



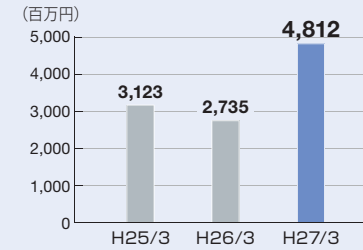
営業利益



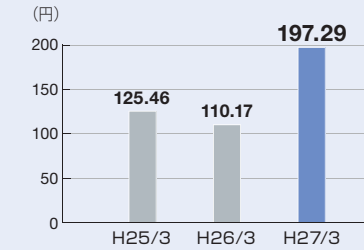
経常利益



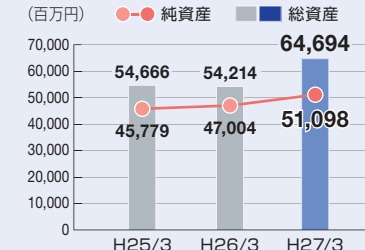
当期純利益



1株当たり当期純利益



純資産/総資産



貸借対照表

単位:百万円

科目	平成26年3月期 (H26.3.31現在)	平成27年3月期 (H27.3.31現在)
資産の部		
流動資産	40,249	49,490
固定資産	13,965	15,203
有形固定資産	6,739	6,475
無形固定資産	171	162
投資その他の資産	7,053	8,565
資産合計	54,214	64,694
負債の部		
流動負債	5,652	11,975
固定負債	1,556	1,620
負債合計	7,209	13,596
純資産の部		
株主資本	46,472	50,065
評価・換算差額等	532	1,033
純資産合計	47,004	51,098
負債純資産合計	54,214	64,694

損益計算書

単位:百万円

科目	平成26年3月期 (H25.4.1~H26.3.31)	平成27年3月期 (H26.4.1~H27.3.31)
売上高	41,830	56,151
売上原価	20,726	30,256
売上総利益	21,104	25,895
販売費及び一般管理費	16,875	17,958
営業利益	4,229	7,936
営業外収益	118	122
営業外費用	91	109
経常利益	4,256	7,949
特別利益	1	-
特別損失	75	4
税引前当期純利益	4,182	7,945
法人税、住民税及び事業税等	1,659	3,705
法人税等調整額	△212	△573
当期純利益	2,735	4,812

キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	平成26年3月期 (H25.4.1~H26.3.31)	平成27年3月期 (H26.4.1~H27.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,657	11,155
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,775	△2,722
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,888	△1,219
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,006	7,212
現金及び現金同等物の期首残高	27,431	26,425
現金及び現金同等物の期末残高	26,425	33,638

平成28年3月期業績予想

第2四半期(累計) 通期	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期(累計) 通期	24,300	△23.7	2,100	△56.1	2,100	△56.6
通期	48,600	△13.4	6,500	△18.1	6,500	△18.2
第2四半期(累計) 通期	当期純利益		1株当たり当期純利益		年間配当金	
	百万円	%	円	銭	円	銭
第2四半期(累計) 通期	1,300	△57.8	53.29		25.00	
通期	4,000	△16.9	163.96	(合計)	50.00	

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

会社概要

設立 昭和41年10月1日
 本社 大阪市中央区内本町一丁目1番4号
 従業員数 445名
 事業内容 パチンコ遊技機・パチスロ遊技機の
 開発、製造、販売

役員

代表取締役社長 松元邦夫
 代表取締役副社長 松元正夫
 代表取締役専務 井上孝司
 常務取締役 辻田隆
 取締役 羽山敏隆
 取締役 米田勝己
 取締役 渡辺勝治
 社外取締役 坪本浩一郎
 社外取締役 川添嗣夫
 常勤監査役(社外) 水嶋延和
 社外監査役 川西耕司
 社外監査役 堀弘二
 社外監査役 川島育也

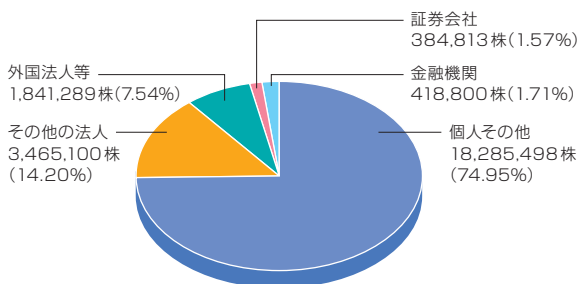
事業所 (※平成27年4月1日現在)

名古屋事業所 (名古屋工場および開発部)
 東京開発事業所
 仙台支店 札幌営業所 京都営業所
 埼玉支店 青森営業所 神戸営業所
 東京支店 千葉営業所 広島営業所
 名古屋支店 横浜営業所 高松営業所
 大阪支店 八王子営業所 熊本営業所
 福岡支店 金沢営業所 鹿児島営業所
 静岡営業所

株式の状況

1) 発行可能株式総数 80,000,000株
 2) 発行済株式の総数 24,395,500株
 3) 株主数 6,835名

所有者別株主分布



4) 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
松元 邦夫	6,656,000	27.28
松元 正夫	6,562,600	26.90
株式会社松元ホールディングス	2,900,000	11.88
釣谷 香揚子	700,000	2.86
吉田 嘉明	501,500	2.05
サン電子株式会社	290,800	1.19
藤商事従業員持株会	267,300	1.09
松元 恵子	260,000	1.06
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	223,815	0.91
株式会社SBI証券	215,200	0.88

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当 毎年3月31日
 中間配当 毎年9月30日
 その他必要がある時は、予め公告して定めた日
 株主名簿管理人および
 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 株主名簿管理人
 事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 ☎ 0120-782-031

ホームページ <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告方法 当社のウェブサイトに掲載致します。
 (http://www.fujimarukun.co.jp)
 ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載致します。